

令和6年度三重県沿岸種資源評価 カタクチイワシ

資源水準・動向

高位・増加



生物情報

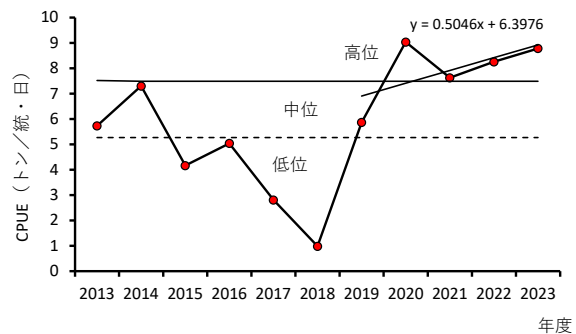
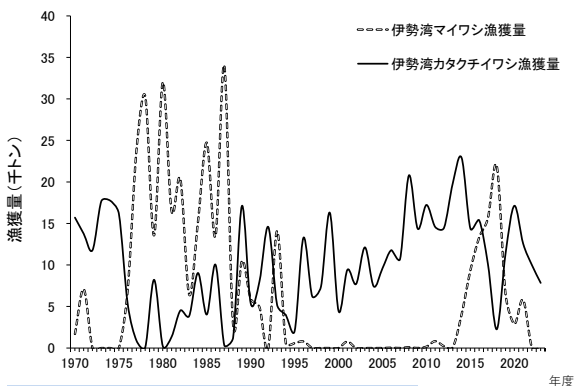
- ・ 日本各地の沿岸域～朝鮮半島、中国、台湾、フィリピンに分布し、大きな群れを作って表層付近を泳ぎ、プランクトンを食べる。寿命は4年と考えられている。
- ・ 内湾域では1年未満、体長6cm程度(被鱗体長、以下同じ)で成熟するものもいる。東北沖合域で生育するものは冬～春生まれで、満1歳で10～12cmに達して成熟し、2歳で13cm程度に達する。
- ・ 伊勢湾における産卵盛期は4～10月ごろで、春には8cm程度以上の比較的大型魚が産卵し、夏には6cm以上で産卵する。

漁業の特徴

- ・ 伊勢湾は船びき網で、熊野灘では定置網やまき網で漁獲される。マイワシに比べ漁獲の優先順位は低い。
- ・ 漁獲は伊勢湾では7～11月に多い。漁獲主体は10cm以下の小型魚。
- ・ 伊勢湾の漁獲は安定しているが、熊野灘は冬春季の沖合からの来遊次第で変動が大きい。

資源状態

- ・ 伊勢湾の船びき網のCPUEから資源水準は「高位」とした。
- ・ 同CPUEの直近5年間の推移から資源動向は「増加」とした。



資源管理の取組

- ・ 魚体や産卵の情報に基づき、愛知・三重の漁業者が協議して操業自粛などの自主的な資源管理が実施されている。

将来考えられる資源管理の取組

- ・ TAC管理への取り組みが進められることになっており、現行の自主的管理とのすり合わせが課題となっている。